

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズ/NO 115



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来19年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3900日を超え5期目残り半年余りとなりました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は119名を超えました。これでスマートフォンでのライブ配信をすることが出来ます。登録のご協力に感謝し、更にご登録を引き続きお願いします。

チャンネル登録



小中学校の校舎長寿化計画は、机上の空論そのもの！

9月越谷定例市議会が、9月1日から始まっているが、本日午前10時から市長や教育長に対して、私は一般質問に立った。

このため、朝の駅立ちは前夜からの質問原稿の準備のため、ほぼ徹夜状態だったため中止した。質問は2つのテーマで持ち時間の1時間を使いきって行った。

- 1、越谷市国土強靱地域計画
- 2、越谷市公共施設等総合管理計画

その中で2の項目について、越谷市は、公共施設(241個)の39%を今後40年間かけて統廃合する計画を策定している。

しかし、すでに令和3年度からの開始年が始まっているにも拘わらず、具体的には1施設も着手していない。

右肩上がりの時代に特定の地域や団体や業界の要望で作り続けて来た建物は、耐用年数の60年目をまじかに迎えようとしているため、長寿命化計画を策定し、80年に延長する事している。

国が衰退し、町が縮退して行く時代には、成長感覚の対応では全く市民の合意形成が出来ない。総論賛成、各論反対が渦巻く事が予想されるため、なかなか個別の施設の廃止に手を付けられない現実がある。

また、公共施設の半分は小中学校であり、すでに令和3年度から5年間をかけて37校の小中学校の長寿命化計画を対象としているが一切着手していない。

教育長は、5年間で100億円を超える耐震化の事業費に加え、体育館の空調事業に45億円、LED化に3億円を要するため財源を確保出来ないと答弁した。それでは、市民に対して市ホームページに策定計画を掲載しているのだからせめて修正すべきと迫ったが、答弁はなかった。

<https://www.youtube.com/watch?v=UOEMWts65q4&t=2880s>
(9月7日・水曜日)

何故自民党は「安倍元首相の国葬に反対する意見書」の反対討論に立たないのか

本日議員提出議案「安倍元首相の国葬に反対する意見書」が提出され私は賛成討を30分にわたり本会議場で行った。

賛成討論はこの他、立憲民主党と共産党から、反対討論は維新の会だけだった。

採決の結果、自民党、公明党、刷新クラブ、無所属(1)の反対多数で不採択となった。

今回も、自民党は質疑を提出者の議員に行ったのだが相変わらず反対討論はせず、公明党も全く同じ対応しかしないことが、繰り返されている。9月28日の最終日に提案予定の「旧統一教会と国会議員とのかかわりを徹底解明する事を国に求める意見書」にも同様の対応をするのだろうか。

賛成、反対はそれぞれの議員が、最終判断をすればいいのだが、何故そうするのか議場と言うオフィシャルの場で発言しないのなら、説明責任からの逃避であり、議会機能の低下を促進する行為となってしまふ。

<https://www.youtube.com/watch?v=ttqdTINy0uGI&t=19s>
(9月13日・火曜日)

(裏へ)

ヒーローインタビューに若者が登場

本日午後6時から午後7時30分まで、「第7回白川ひでつぐ駅前市民対話集会」を新越谷駅東口広場を会場にライブで公開配信した。

冒頭には、現在9月越谷定例市議会が開催されており、①安部元首相の国葬に反対する意見書に対する、私の賛成討論を含めた反対討論の紹介②子ども教育常任委員会で、否決されたPFI事業として140億円の契約議案の影響等について報告した。しかし、動画編集が時間ギリギリの仕上がりとなり、また初めての試みであったため、不具合が生じて上手く配信出来なかった。ところが、午後7時を過ぎた頃、目の前の広場で20台前半の男性が同じような20代前半の女性の首元をつかみ引きずり回しており、当然女性はこれから逃げようとしていた。

しかし、この男性はしつこく追い回し、何度も小競り合いとなり、時々女性の悲鳴の様な声も聞こえて来た。(動画に入っている)

私は、ライブの真っ最中のため、その様子を目で追っていたが、流石にほおっておくわけにいかず、その現場に歩み寄ろうとした。

ライブ会場を一旦離れたところ、駅前で居酒屋の宣伝をしていた5人組の若い男性たちが、その女性をかばって、件の男性から引き離しており、女性はその集団の後ろに回り身を寄せていた。そこに私から大丈夫ですか、と声を掛けた。すると旦那なんですとの返事だったので、もう一度大丈夫ですか、と声をかけた。小さくうなずいていた。このためライブ会場に戻った。

その後、警察官が数人集まって来て、事情聴取をしていたがその夫婦はすでにそこにはいなかった。

そして、5人組の男性の一人がインタビューに応じてもらい、19歳の男子学生が「ヒーローインタビュー」としてライブ出演で話して頂いた。「例え一人でも正義感が強いので女性を守ります」と力強く発言をしたため、周辺では期せずして拍手が沸き起こった。

最近すがすがしい光景に出会う事が出来たのだが、その後男子学生がライブでも宣伝した居酒屋に市民スタッフ全員で反省会を開催した。ただ、あの女性は自宅に帰ってまた夫から暴力を受けないのか、または今夜は帰宅しないのか、少し気がかりだったが、午後10時過ぎに一日の行動を終えた。

<https://www.youtube.com/watch?v=ccukTP5uKtU>
(9月17日・土曜日)

旧統一教会問題の解決に 何故自民党は怯むか

本日9月議会最終日となり議員提出議案「世界平和統一連合(旧統一協会)との国会議員とのかかわりを徹底究明することを国に求める意見書」が提出され、私は賛成討論に立った。

そのため、その原稿作成の準備のため、朝の駅立ちは中止した。

反社会的なカルト集団とされている「旧統一教会」は、この間集団結婚式や靈感商法、限度を超えた献金問題など引き起こし、宗教二世の若者の被害も深刻な状況にある。

このため、その実態把握を政府や第三者機関によって明らかにして、緊急の対応策を実施することが政治の責任として問われている。

特に、長年政権与党として国政を担って来た自民党は国会議員に限らず、地方議員までも選挙の応援団として深く関わって来た。

そのため、自民党が最もその解決の先頭に立つべき事は自明の事だ。

しかし、今回もこの意見書には質疑はするものの反対討論に立つことはせず、8人全員反対の採決ボタンを押した。

何故自らの見解や姿勢を明らかにしないのだろう、とまたまた憂鬱な気分となった。

<https://www.youtube.com/watch?v=HA2ZdHt0fsw&t=535s>
(9月28日・水曜日)

三学園構想を推進する、蒲生地区の新校舎建設等の契約議案が否決された

議会最終日、市長提出議案として蒲生地区で令和8年開校予定で計画されていた、三学園構想のモデル校としての新校舎建設等の契約議案の承認が、自民、公明、刷新クラブ、共産等の反対で否決された。

143億円と言う越谷市始まって以来の大型公共工事であり、また民間のノウハウや資金力を活用するPFI事業である事からも否決の影響が極めて大きく、開校予定は大きくずれ込むか、または一旦白紙になるのかという点も今後の大きな課題となる。

契約議案の否決により、今後子どもたちへの仮設校舎建設等の事業費7億5000万円をはじめ、落札した地元グループ内企業は勿論、何よりも子どもたちへの影響が大きい。

(9月28日・水曜日)